



企業に求められること

令和7年6月17日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

それは個々の社員への正しい評価である。それらは責任と自覚における自己の職務への正しい評価なのである。それにおいて初めて意欲が与えられるのである。

そしてその意欲が未来を与えるのである。これが正しい企業経営である。

これらが公正な企業の構築であり、正しい意欲が未来を実現できるのである。これが企業風土の健全さであり、時代という現実とともによりすぐれた現実を与えるのである。

正しい企業基盤と風土は未来を与える正しい現実なのである。それらは歪な意欲や現実は必ず誤りを生むのである。

また創造性という企業の挑戦はそれら正しい基盤においてその飛躍を得るのである。

これらは企業の進歩と基盤という絶対的な健全性であり、それら現実が与える企業の現実には飛躍的に優れるものを可能とするのである。

これら正しい企業の育成はその高い倫理的基盤なのであり、それが可能性という創造性を与えるのである。

これらはまた経営者の正しい意識の育成が正しい企業を与えることを意味するものである。

これらすぐれた企業風土は正しい労働意欲の結果であり、社員の労働環境において時代基準などを受け入れとともに、企業が飛躍的な現実の改善を生むことができるのである。

これらが技術やシステムの進歩とセオの生産環境の改善など企業の正しい企業努力において新しい未来を求めるとき、その飛躍を得るものである。

これらは正しい経営が正しい企業と未来を与えることの証明なのである。